

健診科

1. 概要

健診科（予防医療センター）は、故瀬川元院長先生が東三河総合健診センターの後継的役割を果たす目的で整備・拡張された事に始まる。受診者は自治体職員や各種企業と個人等よりなる。年齢が進むにつれ、持病を持つ方も多い。

健診診察は、大橋と鳥居が担当。常勤医不在時は浦野副院長、副センター長内藤による迅速なサポートを受けている。午前診察は新しい疾患を見つけ出す事もあるが、主な業務は既往歴、現病歴、治療状況の聴取や受診者自ら選択健診コースの確認と必要時コース変更をすること、内服薬をお薬手帳で確認、安全に検査を受けていただくことである。また、診察中、全身に及ぶ質問を受ける事も多く、わかる範囲で返答、適切な専門医受診を助言している。健診一次検査とその判定は各診療科専門医が担当し、中央臨床検査室と放射線技術局の協力を得ている。二次検査とその判定、必要時の治療と経過観察関連はほぼ全科に及ぶ。

当院健診は、関係各科の忙しい診療の中、その妨げとならぬ範囲で行われ、量より質を重視し、医師を始め実に多くの院内職員の協力により成立している。その中で、有意義な健診を受診者に提供すべく予防医療センターは院内ハブ的役割を担っている。各専門医の実臨床に立脚した高い精度健診成果の一端として、最近10年間に発見されたがんは、胃がん（NET 1例、胃神経鞘腫 1例を含む）78例、大腸がん（NET 2例を含む）52例、前立腺がん 37例、肺がん 12例、食道がん 12例、乳がん 11例、腎臓がん（IgG4腎腫瘍 1例を含む）10例、血液悪性腫瘍（ML3例、CLL1例、CML1例、ATL1例）6例、十二指腸がん（乳頭部がん 1例、NET1例を含む）5例、子宮がん 3例、肝臓がん 3例、膀胱がん 2例、転移性肝臓がん（上腕平滑筋肉腫 1例、GIST 1例）2例、縦隔腫瘍 2例、尿管がん 1例、胆のうがん 1例、胆管がん 1例、睪がん 1例、後腹膜腫瘍 1例、甲状腺がん 1例、副腎腫瘍 1例、転移性肺腫瘍（軟口蓋悪性腫瘍）1例の計 243例である。そのほとんどは早期で発見され、治療予後は良好である。

最後に健診受付と会計業務は受付事務員。健診に関わる団体契約、広報、個人情報データ関連等は医事課と医療情報課による支援を受けている。最終結果判定と説明は医師が実施。当センター看護師が各科との連携・調整やデータ取り寄せ、その確認と健診システム最終登録、受診者の問い合わせや精査・外来予約等の中核的業務を担っている。

（部長 大橋 信治）

講演（医局）

<健診科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	めざすよりよき胃内視鏡検診 ー当院逐年検診発見胃癌例からー	大橋 信治	平成31年度医療機関胃内視鏡 検査講習会	豊橋市	2019/2/16	